

2022年12月20日

株式会社三菱UFJ銀行

横浜市が発行するサステナビリティボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、横浜市が発行する「横浜市第60回5年公募公債（サステナビリティボンド）」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、環境問題の解決を目指すグリーンプロジェクトおよび社会課題の解決を目指すソーシャルプロジェクトに充当される資金を調達するための債券です。本債券の発行により調達された資金は、グリーンプロジェクトとして、鉄道ネットワーク形成や、ソーシャルプロジェクトとして、高齢者福祉の充実、子育て・教育環境の整備等に関連した事業に充当される予定です。

なお、本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンドオピニオンを取得し、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021^[1]」、「グリーンボンド原則 2021^[2]」、「ソーシャルボンド原則 2021^[3]」に適合していると認められています。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も環境および社会の課題解決につながる事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	横浜市第60回5年公募公債（サステナビリティボンド）
年限	5年
発行額	85億円
発行日	2022年12月20日

^[1]国際資本市場協会（ICMA）が定義する「サステナビリティボンド・ガイドライン 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/sustainable-finance/the-principles-guidelines-and-handbooks/sustainability-bond-guidelines-sbg>

^[2]国際資本市場協会（ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/>

^[3]国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/sustainable-finance/the-principles-guidelines-and-handbooks/social-bond-principles-sbp/>

以上